



夕張市議会懇談会開催

教育予算の充実を、各団体への助成金の復活を！



地方の声を国に届けるために、意見書の採択を！

「意見書」提出の取り組みを積極的に
労連、連合が要望

議会と団体の懇談会

夕張市議会の主催
で市内主要 11 団体と
の懇談会が 8 日、清水
沢公民館で行われまし

「補助金が無い！」
困難の訴え次々

た。主催者を代表して高橋一太市議会議長が挨拶し、市民に開かれた議会運営をめざして「議会基本条例」を決めるなど取り組んできた経過を報告しました。

主権者を代表して高橋一太市議会議長が設業協会では市営住宅新築工事で仕事ができ助かっているとのこと。PTA 連合会、校長会から児童生徒数減少のなかで幼稚園から高校までの一貫教育を検討してはどうかとの発言がありました。

また、児童の遊び場が少ない、部活遠征費用などを補うため廃品回収で資金作りをして不足。青少年育成協議会でも各分担当の捻出に困っていることなどが出されました。

「夕張にカジノを誘致することについて」各議員の考えを聞きたいという発言があり、各議員が思いを表明する場面がありました。

過去に、夕張にふさわしいものかとの議論になった経過もあり、賛否両論がだされました。

くまがい議員は「夕張の財政再生に資するものでは決してない。むしろ社会不安を引き起こす」と反対する立場を明確に述べました。

参加した各団体からは、財政再生の夕張にあつて活動を進める困難さが年々強まっている様子が目立っており、児童委員会、芸能協会などの団体では必要な経費のやりくりがつかない中での活動しているとの話や、観光協会では北の零年施設がズリ山崩壊危険のため営業

できず財政不足との窮状が出されました。建設業協会では市営住宅新築工事で仕事ができ助かっているとのこと。PTA 連合会、校長会から児童生徒数減少のなかで幼稚園から高校までの一貫教育を検討してはどうかとの発言がありました。

また、児童の遊び場が少ない、部活遠征費用などを補うため廃品回収で資金作りをして不足。青少年育成協議会でも各分担当の捻出に困っていることなどが出されました。

「意見書」の積極的
扱いを求める

地方自治法 99 条にもとづく国にたいする意見書の提出に、夕張労連から出されている「秘密保護法制反対」の意見書提出要請について、国会での審議中であり、検討中であるとの説明がなされた。

＝「社会保障のやりすぎでつぶれた国はない！」＝

11 月 2 日、「アベノミクスと社会保障」の学習会が札幌市教育文化会館で開催され、米田貢（中央大学教授、日本科学者会議事務局長）が講演しました。

- ◆ アベノミクスの成長戦略はグローバル企業の利益と国民経済的利益とが決定的に対立しているのに、グローバル企業の成長によって国民経済（GDP）が発展する国民生活が向上するかのようになっていること。
- ◆ 日本のほとんどの大企業がグローバル企業で、企業の儲けが国民の生活水準を改善はしないことがあきらか。

- 社会保障のやりすぎでつぶれた国はない。政府などが流す財政危機論に騙されてはいかない（ギリシャやイタリアのようにならない）
- 消費増税は国民生活を破壊し、日本経済の再建に道を閉ざす
- 安定した雇用と賃金水準が国民経済再建の第一歩。農林漁業を再建し、生業に従事する若者を増やし、自然エネルギー起こしで地域社会を活性化させよう。
- 社会保障の積極的拡充こそが国民経済と国民生活の向上を図る道
- 「大企業依存の国民経済から住民生活本位の循環型地域経済に転換を」などの概要。

参加者からは、「講演を聞いて安心した。社会保障を守る取り組みを、今こそ大きく広げていきたい」などの感想がだされました。



田中正造没後百年「檻樓(へらるる)の旗」足尾鉍毒事件と田中正造「上映」『真の文明は…人を殺さざるべし』

11月2日、札幌プ
ラザ2・5地下ホー
ルにおいて「檻樓の
旗」上映会が開催さ
れました。

この映画は足尾銅
山鉍毒事件で鉍毒被
害農民の先頭に立ち、
銅山の操業停止を求
めて闘った田中正造
を描いた作品です。

主演の田中正造は
演じ、今年4月に亡
くなった三国連太郎
追悼・田中正造没後
百年を記念した札幌
自由学校遊の講座も
かねた上映です。

「真の文明は
山を荒らさず、
川を荒らさず、
村を破らさず、
人を殺さざるべし」
を殺さざるべし」
という正造の思
想と行動は村人
に支持されます
が、国会議員と
しての正造の迫
力ある訴えは受
け入れられず、
議員を辞職。
被害農民ら1

2011年に発生
した東北地方太平洋
沖地震の影響で渡良
瀬川下流から基準値
を超える鉛が検出さ
れるなど、21世紀と
なった現在でも影響
が残り、1960年
代の高度成長期に起
きた数々の公害事件

万2千人が政府への
銅山操業停止を求め
る請願行動団を組織
し、しかし請願団は警察
や憲兵らに苛烈な大
弾圧を加えられ、果
たされません。
また、最後の砦も
土地収用法で強制破
壊。共演者西田敏行
の「先生からは今後
夕張に行けといわれ
ると」という言葉に
は、当時厳しく弾圧
されたという、夕張
の炭鉍での『苦闘の
歴史』をも垣間見た
ように思えました。

【映画「Love 沖繩」と講演のつどい】

- ・とき 2013年12月1日(日) 13:00~16:00
- ・ところ ゆうばりはまなす会館
- ・お話しする人 影山あさ子さん
- ・参加費 500円(バス料金を含みます)

=主催 ゆうばり女性9条の会=

くまがい桂子の 結び目日記



日本共産党 夕張市議

くまがい桂子

「夕張見学バスツアー」

9日(土)ゆうばり再生市民会議福祉・生活分科会では、被災者支援ネットワーク夕張再生館との共催で、被災者支援の一環として、「豊かな自然の夕張へ！」見学バスツアーを開催しました。

この取り組みは、日本共産党の衆議院候補森つねとさんと、みちのく会のお母さんたちとの懇談の際、「札幌で働きたくても、保育園がいっぱいで子どもを預けられない」—そんなお母さんの声をフェイスブックで知り、「夕張なら保育園にはすぐ入れるし、介護などの仕事ならある！」—そんな思いが、この企画の発端になりました。

ゆうばり再生市民会議でマイクロバスの費用として、夕張市の『しあわせのハンカチ基金』に申し込み、助成が決定。札幌在住の避難者自助団体「みちのく会」(約1500世帯が加入)を中心に呼びかけ、札幌と富良野からの参加者も含め、移住を検討中の2家族と単身の方が二人。今後の参考にと、札幌の受け入れボランティアの方を含め、10名の方が参加してくださいました。

小学校・中学校・高校・歩団地・栄団地・マウントレースイスキー場・はまなす会館の障害児等のデイサービスをご案内し、昼食交流会、夕鹿の湯で温まっていたいただきました。

早速、「建物の物件情報を見たい」という方、「少し広めの土地を購入して農業をやってみたい」という方には、市のHPからインターネットで情報をみていただきました。

ボランティアの方からは「札幌にも空港にも近いし、静かな自然の中で暮らしたい人にはいいですね。広報紙に紹介させていただいたり、知り合いの方たちにもお話しします。今後とも是非よろしくお願ひします。」

市民活動が、大きなネットワークにつながりました。夕張の良さをお伝えする被災者支援が夕張の再生につながれば、こんなうれしいことはありません。